

「充実の2学期」いつも通りスタート！



愛郷心

美里町立砥用中学校学校たより

校訓

自主 責任 実践

令和8年9月30日（水）
文責：校長 瀧森 智



砥用中ホームページは
こちらから

二学期がスタートして一ヶ月が経ちました。始業式では各学年の代表が、今学期の目標を力強く述べてくれました。実りの多い学期にしていきたいですね。

さて、二学期になってすぐ三年生のダイビング体験と二年生の職場体験学習を行いました。ダイビング体験では、講師の『水草うみの学校』の森俊徳校長やB&G海洋センターの方々にお世話になりました。また職場体験学習では、町内の十六の事業所の方々にお世話になりました。本当にありがとうございました。



体験学習を通して、子供たちは将来の自分の生き方や仕事について考えを深め探究しました。その成果を、学習成果発表会で披露します。一年生は、KAB熊本朝日放送とコラボした「ふるさとCM」を披露します。体験・取材を通して『地域のよさを知り、探究して理解を深め、発信する』という学習過程を発展させていきたいと思えます。

3km コース
女子1・5区
男子全区间

- ① 中継線よりグラウンド側にスタート
- ② 約250M先の安全看板前で折り返し、中継所前を通過してダムの方へ走る。ダム管理事務所入口前を折り返し。
- ③ 中継線まで戻る。
- ④ 再度同じコースを走る。
- ⑤ ※全長1.5kmのコースを2周する。



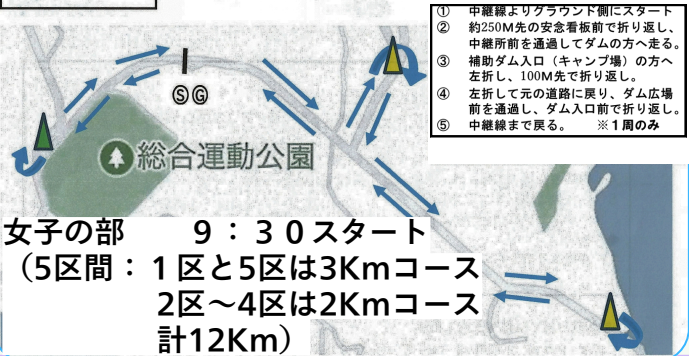
男子の部 11:00スタート
(6区間：全区间3Km 計18Km)

砥用の新コースで健脚を競う 宇城中学校駅伝競走大会

砥用中学校区内で行われる大会です。全校生徒による沿道での応援を行います。砥用中だけの応援ではなく、宇城地区の全中学校を応援します。大地震という過酷な逆境の中、各学校の選手たちの諦めない姿を精一杯応援し、何かを感じ取ってほしいと願っています。地域の皆様、砥用中及び宇城地区の中学生ランナーの一生懸命で真剣な姿を、是非応援してください。

十月十六日（金）に宇城中学校駅伝競走大会が、砥用B&G海洋センター周回コースで行われます。昨年までは、中央の町営球場周辺コースで行われていましたが、熊本地震での被災によりコース変更となりました。宇城地区の各中学校では、地震による影響を受けながらも、夏場から練習を積み重ねてきた。その努力の成果を表現する大切な大会になります。

2km コース
女子2・3・4区



女子の部 9:30スタート
(5区間：1区と5区は3Kmコース
2区～4区は2Kmコース
計12Km)

今後の主な行事予定

(変更になることもあります)

- 【10月】
- 1 (木)：生徒議会
 - 2 (金)：生徒集会、英検⑤⑥
 - 7 (水)：職員会議、学習成果発表会リハーサル
 - 8 (木)：特別日課、発表会準備・確認、通知表配布
 - 9 (金)：学習成果発表会、学校運営協議会
 - 12 (月)：**スポーツの日**
 - 14 (水)：宇城駅伝大会選手推戴式
 - 15 (木)：SC来校
 - 16 (金)：宇城中学校駅伝競走大会

(砥用B&G海洋センター周回コース)

- 17 (土) - 18 (日)：県人権教育研究大会
- 22 (木)：SC来校
- 23 (金)：合同合唱発表会 (砥用中体育館)
- 24 (土)：熊本県人権子ども集会
- 27 (火) - 28 (水)：共通テスト (3年)

夕暮れがだいぶ早くなりましたね。
体調を整え、充実した学校生活を送りましょう！



十月二十四日（土）、熊本城ホールにて熊本県人権子ども集会が開催されます。この集会は、中高生が実行委員を務める形で以前から行われていますが、県教育委員会主催となったのは一九九七年度からです。集会の目的は「児童生徒を主体とした活動を通して、全ての人々の人権意識の高揚を図るとともに、部落差別をはじめあらゆる差別をなくし、人権が共存する人権尊重社会の実現を目指す」というものです。

本校からも生徒会を中心に参加を予定しています。発表者の児童・生徒の想いを会場で直接聞き、その思いを感じ取ることができるとも大切な機会です。また、オンデマンド配信も二学期の人権学習とともに学習を深めていきたいと思えます。

部落差別をはじめあらゆる差別をなくす 熊本県人権子ども集会

集会では県内の小中高校の代表が、各校の人権学習について発表します。最後に今年の集会メッセージが紹介されます。このメッセージは、集会当日に子どもたちの口から直接発表・採択されるというプロセスが受け継がれています。今回も、集会本番及びその後のオンデマンド配信開始に合わせ、子どもたちの想いが込められた新しいメッセージが明らかになります。